

# 学 習 指 導 案

北海道岩見沢東高等学校 数学科

日 時	令和4年9月12日(月) 4校時	場 所	2階1年E組教室
教 科	数学	授業担当者	小林 拓真
単 元 名	数学A 場合の数と確率	対 象 者	1年E組(男24、女11)
本 時 間	第2節 確率 9.期待値 (33/37時間)		
単元の目標	知識・技能⇒定義にしたがって期待値を求めることができる。 思考力・判断力・表現力⇒期待値を用いて損得や有理, 不利の判断ができる。 主体的に学習に取り組む態度⇒期待値を考える意義を理解し, それに興味をもつ。 ⇒日常生活で様々な判断をする際, 期待値を積極的に活用しようとする。		
本時の目標	○期待値を用いて損得や有理, 不利の判断ができる。(思考・判断・表現)		
段 階	指導のねらい・学習活動		
	生徒の学習活動	教員の働きかけ・支援	留意点
導 入 (5分)	◇前時の復習 ◇全体で確認 ○本時の目標を確認	◆前時の内容(期待値について)についてペアで復習するよう指示を出す。 ◆どこかのペアに発表してもらう。 ●本時の内容について確認	思考力・表現力・判断力を育成する生徒への手立て  ・授業の始めに、前時に習ったことを3分間で相手に伝えるというグループワークを4月から継続して行っている。  ・授業内で生徒が主体的に考える場面を必ず設定し、言語化させる。 ※場合によってペアやグループで意見交流することも考えられる。  ・問題演習の際は、個人思考⇒集団思考の流れ  ・ICTは必要な場面・状況でのみ使用する。
展 開 (40分)	◇損か得か予想する。  ◇思考する。 個人⇒集団	◆応用例題9)の内容を全体で確認し予想させる。 【予想される生徒の考え】 ・損 ・得 ・判断できない  ◆どうやったら判断できるか発問する。 ●全体で確認 ◆なぜ期待値とゲームの参加料を比較するのか発問する。 【予想される生徒の考え】 ・1回のゲームで得られることが期待できる金額が期待値だから。 ・期待値より参加料が大きい場合は損であり、小さい場合は得であるから。  ●応用例題9)の解答を確認。 ※ここでは、確率を求める途中経過は省略し、期待値が1000円になるということを全体で確認する。	
	○CONNECT147に取り組ませる。 ◇各グループで考えた結果について発表し合う。	●各グループに確認し、全体で確認	
ま と め (5分)	○本日の学習について振り返る。	●本日の学習について振り返りをさせる。	

○ 生徒の行動 ◇ 思考 ● 教員の行動 ◆ 発問